

SBIホールディングス株式会社との 資本業務提携に関する説明資料

株式会社チェンジ 2022年3月4日

CHANGE
PEOPLE, BUSINESS, JAPAN

1.資本業務提携の狙い~地方創生事業の進化

||| 相互の強みを活かし、金融×自治体×地域企業に対する活性化支援の 掛け算を通じて、地方創生を成し遂げる唯一無二の事業体へ進化することが資本業務提携の狙いです。

地方創生を成功に導く三要素

地域金融を 再生・強化 地方自治体 公共サービスを 持続可能に 地域の強みに立脚 した産業づくり 資本業務提携における具体策

地方創生事業における連携

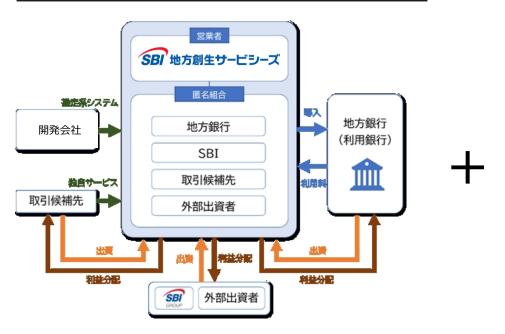
エネルギー事業・ESGへの 取り組み強化

事業承継ファンドによるSIerの 再編・地域のDX担い手への変革

2.1 地方創生事業における連携

- ||| SBI地方創生サービシーズはの代表取締役に福留大士が就任予定。
- ||| まちづくり・環境・防災分野など、地域の社会課題を解決する事業領域へ の拡大を急ぎます。

これまでの地方創生事業(システム分野)



- Ⅲ 地域金融機関向け次世代バンキングシステム
- ||| 銀行の勘定系システムをクラウドで構築し、そ の利用料を収益モデルとする

資本業務提携後の事業分野拡大



- Ⅲ スマートシティ事業・地域や施設 の活性化事業
- 地域の価値を高めるインフラを提供し、不動産価値を向上

環境 分野

- | 地球環境・脱炭素に資する資源 循環システム事業
- フロンティアテックを活かしたプラント によるゴミの資源化

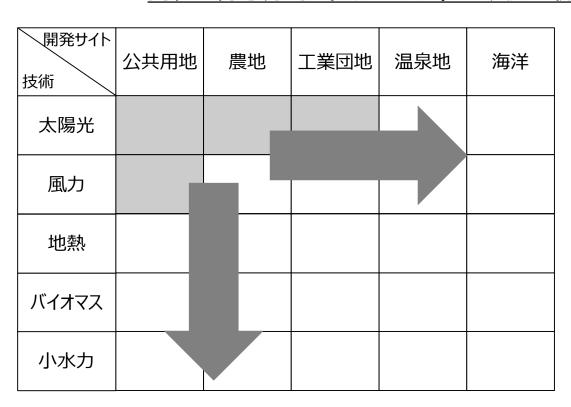
防災 分野

- 蓄電システムを防災拠点で活かしたレジリエンス事業
- III ハード・ソフトの両面から地域の防 災機能を強化

2.2 エネルギー事業・ESGへの取り組み強化

||| 再生可能エネルギーの地域循環・地産地消を実現することが地方創生の中核をなすという信念のもと、『成功モデル』の複線化を通じて両社のESGへの取り組みを強化します。

両社の得意分野(成功モデル)と今後の取り組み強化のイメージ



SBIエナジー(株): ソーラーシェアリング

- ・ 耕作放棄地を活用した再生可能 エネルギーの導入と農業振興
- 地銀との連携による地域のニーズ 発掘力



<u>当社:スマートシティ・マイクログリッド</u>

- 自治体の公共用地の有効活用による脱炭素推進
- 自治体とのネットワーク・IT活用力 (エネルギーマネジメントシステム)

2.3 事業承継ファンドによるSIerの再編

||| 地域のDXの担い手の育成を目的として、SBI事業承継ファンドによる SIer(システムインテグレーター)の事業承継を支援し、業界再編につ なげます。

SI業界における事業承継問題の解決と当社の事業強化

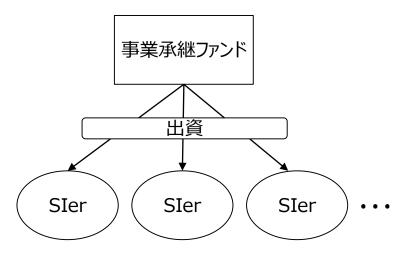
SBI事業承継ファンドの強み

- 調剤薬局や米卸などの業界で事業 承継の成功事例を創出
- 地銀や投資先企業との連携による 事業承継案件の発掘力



当社の戦略(M&A·業界再編)

- M&Aによる地域のDX人材確保・ 育成が急務
- 人材育成力や事業開発力をテコ にした業界再編



- Ⅲ 地銀からの紹介を通じて、事業承継に悩む地方のSIerに対して、事業承継ファンドにて出資
- Ⅲ 当社にて出資先の企業群を子会社化し、人材 育成やバックオフィス機能の提供など、事業の効 率的な運営をサポート

